

3類型	鋳工業品	通巻番号	7 - 20 - 010
地域資源名	阿波和紙	認定日	平成20年12月19日
地域	徳島県吉野川市	所管省庁	経済産業省

事業名: 阿波和紙を活用した高級惣菜用貼箱(重箱・遊山箱)の開発・製造・販売

会社名: 株式会社山文
 連絡先: TEL: 0883-42-2234
 FAX: 0883-42-5111

所在地: 徳島県吉野川市山川町堤外35 - 6
 HP: <http://www.yamabun-85.com/index.html>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・当地域は、古くは阿波手漉き和紙の産地として栄えたが、近年は生活様式の変化等により和紙離れが目立ち、製紙を本業とする企業が減少している。企業は生き残りを図るため、インクジェットプリンター対応和紙や和紙壁紙など、新商品の開発を行っている。
- ・食品用包装資材には従来、漆器やプラスチック成型品、木箱等が用いられ、和紙は加工の難しさや強度面から用いられていなかった。しかし、高級商材用の貼箱需要の増加を実感し、強度や高級感を兼ね備えた阿波和紙重箱・遊山箱の開発に着手。
- ・元来障子紙として栄えた阿波和紙は耐久性に優れ、発色についても他産地にはない深く濃い色合いを表現できるため、高い質感が求められる高級商材用のパッケージとして活用する。使用後の二次利用も可能で、処分する際にも環境負荷の低い商品となる。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・貼箱に阿波和紙を活用することで高級感を高め、従来の和紙風貼箱との差別化を図る。特殊加工により水分や油が箱本体に浸透しない構造を実現し、付加価値の高い商品を開発する。

市場性

- ・ターゲットとする市場は、おせち料理を代表とする高級惣菜用の貼箱市場。国内の貼箱市場は年間150～180億円規模で、そのうち和風のものが約8割となっている。本物の和紙を用いることで優位性を発揮する。

販路

- ・食品容器販売会社や料亭、和菓子店など既存の販売ルートから、高級商材を大量に扱うメーカーや百貨店など関東市場に向けて販路を拡大する。将来的には高級ギフト市場にも展開する。



地域資源における関係事業者との連携

- ・素材となる阿波和紙及びボール紙は、地元の製造業者から仕入れる。
- ・貼箱の強度について、数値的性能検証を徳島県立工業技術センターに依頼する。使用感等についても、料亭に依頼して調査を行う。